

月刊「神戸っ子」昭和38年12月10日印刷通巻33号 昭和38年12月10日発行 毎月1回10日発行

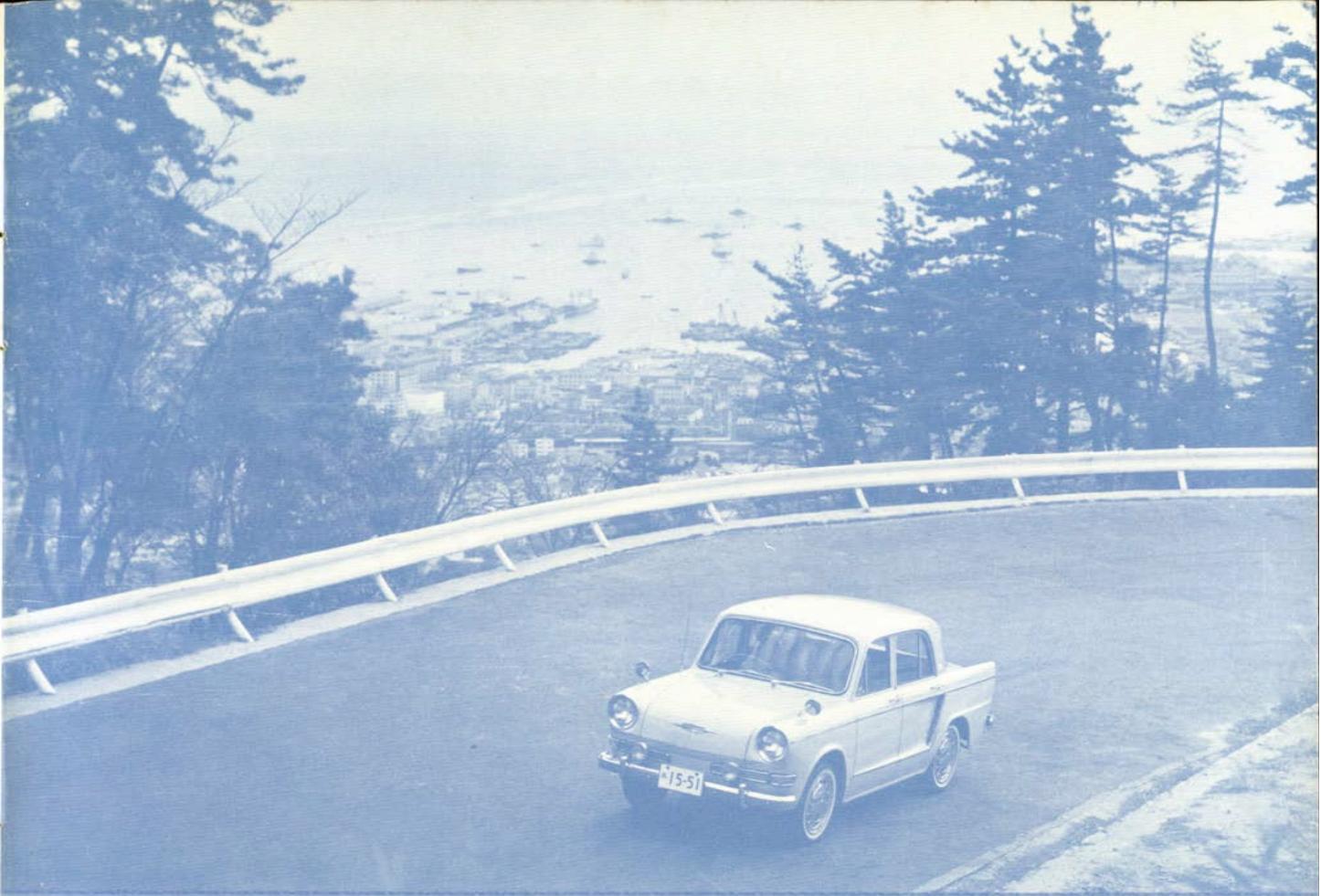
郷土を愛する人々の雑誌

# 神戸っ子

1963/12



monthly magazine kobekko december 1963 no, 33



*Hino*  
高性能の日野

高速性能が満喫できる  
スポーティ・セダン

日野 **コンテッサS**

神戸日野モーター TEL④5771~5

■ 大型バス・トラックのご用命は 兵庫日野ジーゼルへ TEL④7651

これは神戸を愛する人々の手帖です

あなたのくらしに楽しい夢をおくる

神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ

これは神戸っ子の心の手帖です





神戸店 = 三宮・神戸国際会館 Tel. 22-0062  
大阪店 = 堂島・新大ビル Tel. 361-0220

---

ミキモトパール 御木本真珠店

---

クリスマスの贈りものに

楽しいついでに



# 神戸と女性

月乃江まどか

（宝塚歌劇団花組）写真右  
甲にしき

（宝塚歌劇団花組）写真左  
の名物寺院です。神戸っ子宝塚ジエンヌの甲にしきさんは親和学園、月乃江まどかさんは松蔭女子学院の出身。新春の舞台稽古でギッシリのスケジュールの間を縫つて、大好きな神戸の町をコンビで散歩のひとときです。





*Merry Christmas*

確信をもって  
タジマの目が選んだ  
世界の宝石の名品！

*Tajima*  
宝飾店 タジマ

元町2・TEL③0387・2552

迎した。(左頁下)

\*写真説明  
①11月4日、伊丹  
空港に到着した米国代表団を迎  
える、原口市長(左)と東京都知  
事(右)  
②婦人代表団のため  
に組んだホームビギットでお花  
の生け方を教わり、楽しむ婦人  
(左頁中)  
③ポートタワーには  
じめて登ったのもこの代表団(一  
左頁上)  
④生田神社では婦人代  
表団のために、挾前結婚や舞の  
奉納など日本の風俗を見せて歓





コウベでみがく  
世界の宝石

直輸入

# 神 戸 宝 石

トアロード

大丸上ル 300 メートル

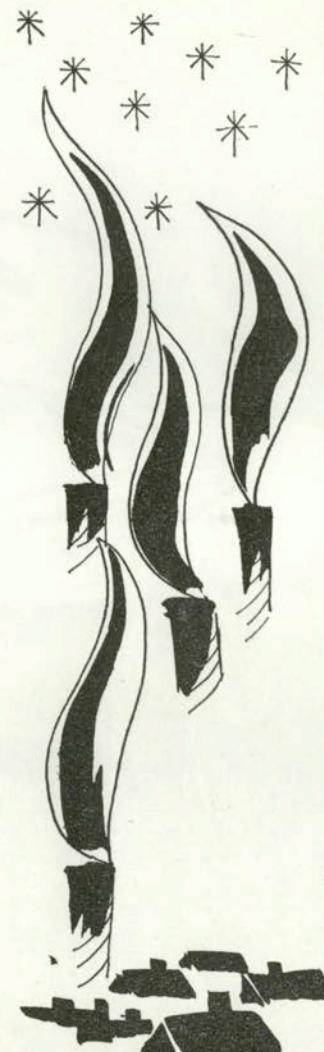
タニジ

③ 2397

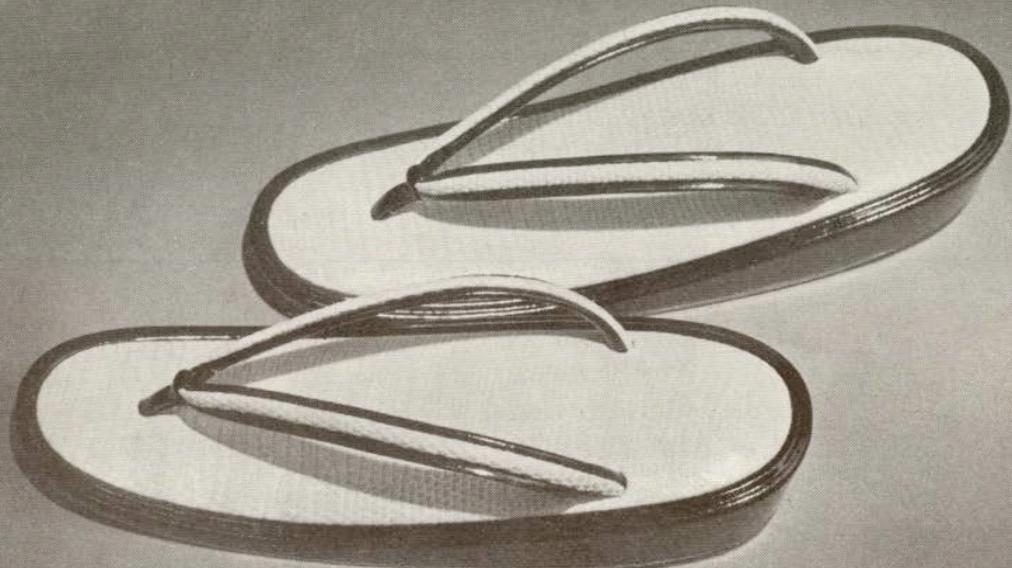
# 12月目次

- SECOND COVER／え・中西 勝 1  
□グラビヤ／神戸と女性  
甲にしき・月乃江まどか／岩島道枝・人見理子 3  
\*わたしの意見／原口忠次郎 9  
連載隨想第十六回／紅葉の記・白川 邇 10  
連載隨想第五回／教え子・阪本 勝 15  
神戸っ子放談1／・乾 豊彦 18  
れんさい隨想⑦／神戸のこと手当り次第・淀川長治 21  
宿六談義／藤間 紫 24  
連載第十回／神戸とエトランゼ  
チヨコレートから生まれた男・陳 舜臣 27  
神戸遊戯誌4／ゴルフ④・青木重雄 33  
\*クリスマスとお正月のドレスプラン・福富芳美 37  
暮らしのアクセサリー⑨／矢野 坦 38  
□特集／KOBE クリスマスパーティ作戦  
ワイン作戦要務令・藤本義一 43  
・二人だけのパーティ・わが家でパーティを 45  
・みんなでパーティを・神戸で楽しいパーティを 48  
KOBE CLUB & BAR 50  
神戸うまいもん巡礼 No.15／赤尾兜子 52  
紳士入門⑩／パーティ紳士・竹田洋太郎 54  
ポケット・ジャーナル 56  
連載第8回／神戸夫人・武田繁太郎 59  
KOBEEKKO SHOPPING GUIDE 63  
□座談会／僕らは神戸つう  
清水将夫・下条正巳・芦田伸介 69  
びんくこーなー(T) 72  
□グラビヤ／日米市長・商工会議所会頭会議 76

表紙・小磯良平／カメラ・米田定蔵／デザイン・橋正三



クリスマス  
特 集



お正月の美しい晴れ着を、  
きりりとひきしめる履物、  
まごころこめてお仕立てし  
た“まる喜”の品々ははき  
心地よく晴れ着にぴったり  
です。

趣味の履物

まる喜

神戸三宮センター街  
電話 (3) 4478

——全国の注目を浴びて、第7回日米市長、商工会議所会頭会議が神戸で開かれましたが、市長は結果をどう思われますか——

私は第1回の東京会議から欠かさず出席していますが、その頃からくらべますと会議の内容も変ってきていますね。当初は、会議というよりも国民外交的な行き方で、親睦会議でしたが、最近ではその段階から進んで、色々なテーマについて話し合うようになりましたし、会議のスケールも大きくなりましたよ。

## 充実した国際会議

原口忠次郎



\*わたしの意見

真剣に都市行政に対する意見が交換されて本格的な会議になつてきました。もつともアメリカの場合は、日本の都市の10年先の問題を、現在取組んでいると見ていいと思います。将来の都市のあり方なり、市民生活についてどう困られるか、どう言う意味ではよい参考になりました。

いま、アメリカは「日本ブーム」で、最初、会議に300人も申込み、お願いして、120人にしてもらつたほどです。会議をふりかえって見ますと、米側は非常に真面目で、閉会式まで全部いらっしゃるんです。ところが日本側の席は梯の歯が抜けたようで残念でした。

それに一番感激したのは、シャトル市の名誉市民に選ばれたことです。シャトル市では外国人でははじめてだそうで、市会で議決してもつて来られたんです。認証書も金箔の鹿皮でつくられた立派なものです。タコマ市はシャトルの衛星都市ですが、このタコマ市の名誉市民になりました。

米国の都市委員会で、詳しくは、全米市町村会、住民交流計画市民委員会です。それに、リーダーズ・ダイジエスト社の共催で都市提携コンテストが行なわれ、神戸市とシャトル市が、第1位になり、賞金350ドルを贈られました。シャトル市とは、高校生の交換、教授の交換など国民外交の成果をあげていますので市民には喜んでいただいていますが、コンテストで第1位になるとは思わなかつた。この賞金を基金にしてなにか記念になるものを残したいと思っています。

# 紅葉の記

白川益喜渥

え・小松益

喜渥



M.Komatsu

今夜はしきりに風が騒ぐ。庭の楓がようやく美事に色づいたところだが、朝までには大半は散つてしまいそうである。私は紅葉が好きだ。絢爛豪華な樹下に立つと、この生が愛しいばかり切なくなる。

私と雖も、一瞬は捨離諦観の境地に立てそうである。それが、滅びの色のせいだからであろうか。

あれは、もう七八年も前のこと、雪山の季節にはまだ少し早いちょうど今頃、志賀高原山麓の上林温泉に一泊したことがある。ホタルはガラ空きで、客はぼくと同行の友人U君、T君の三人だけ。森閑とした裏庭に、一株の枝ぶりのいい楓樹があった。北信五岳を背景にした高原の紅葉の斜面の美事さもさりながら、その裏庭の一樹に燃える朱の烈しさ。清澄な山気と霧によつて巧妙に染め上げられた恐いばかりの鮮烈さに、思わず息を呑んだものだが、その時、その樹下でU君が撮つたA夫人の小さなスナップ写真が、いまもわが家のアルバムに残つている。

A夫人は、同じ山麓のK旅館の女主人。同行のU君は東宝のプロデュサー。もう一人のT君は雑誌記者。信州行きの目的は、志賀高原を舞台にした私の原作物のロケハンのためだったが、その案内役

はA夫人がしてくれた。

夫人は東京の下町育ちで、U君とは幼な友達。小柄だがなかなかの美人で、ちょっと女優の嵯峨美智子を想わせるようなニヒル美をたたえた人柄。白っぽい和服姿で紅葉の樹下に佇んだ妖しい風情はいまも私の心に残る遠景の人と言おうか。

その翌日、用務をすました私たちは、渋の夫人的旅館に引き揚げて一泊した。夫人は独身と言うわけではないが、良人は湯田中温泉で二号夫人の経営している旅館の方に入りびたりで、こちらは殆ど彼女一人で宰領していたのだ。そんな気易さから、私たちはその夜夫人の居間の炬燵で夜更けまで飲んだ。U君もT君も酒豪である。そして夫人も亦なかなかの豪傑で、そばの茶棚から愛蔵の洋酒を持ち出すあんぱい。だが、私はからきし意氣地なく、間もなく炬燵にノビてしまつた。どれほど眠つたであろう。ふと眼を覚ますと、夫人が何やら客の二人とからんでいる。

「いやです。いや、いや！いやだつたらいやよ。そればっかりわねエ。……」

聴きによつては、穢やかならぬ科白である。寝そべつていた私はクワツと眼を開いた。炬燵の上に三つの茶壺が置かれ、その一つをU君とT君が奪い合つてゐるのだ。

聴いているうちに、だんだん様子がわかつた。茶壺は、土地特産の桑木細工。三つのうち、二つは今夜の記念に二人にくれてやるがもう一つの一番艶の出でている分は、この家に嫁に來た時から丹精こめて磨いた宝で、

「こればっかりはごめん。かんにんしてちょうどいい」と悲鳴をあげてゐるのだつた。

「どれ、見せろ」

寝呆け眼で起き上がり、私も手を出してみた。美しい木理、眩しいばかりの光沢。フンワリと蓋のしまるしめ心地。……私もちょっと強奪したい茶目つ気にかられたが、品物は三つ、客は三人、私まで強盗の仲間入りをすれば、夫人は助かるまい。どうでもこの逸品を手放さねばならぬ羽目に陥るだろと察して、又ゴロリと寝てし

まつた。

ところが、その翌朝、私だけ長野に向うことになり、宿の玄関から車中に乗り込んだ時、夫人は鞄と一緒に例の宝の茶壺をポイと抛り込んでくれたのである。

私は面喰つた。照れた。U君やT君への手前もあつて固辞した。

「ほくはいりませんよ、そんなもの、……」

つい、素つ気ない返事ををしてしまったところ、夫人の美しい眼が妖しくスゴンだ。朝酒をやつていたわけでもあるまいが、とたんに伝法な口調になつて、

「ファン、いらなきアおよし！」

いきなり、茶壺を玄関のたたきに投げつけたのである。私は、いや、U君もT君も少からずギョツとしている。長野発の列車に乗り込むにはギリギリの時間であった。変てこな氣まずい空氣の中で、車は動きだした。そしてそれつきり、私は永久に夫人と再会する機会を失つたのである。

——なぜ秘蔵の茶壺を私にくれようとしたか？ 帰りの車中で、私はやつと彼女の配慮が忖度出来た。三人の客のうち、私が一ばん年長者である。それにU君もT君も、いわば私の案内役の恰好。いずれ強奪されるなら、その宝物を第三者の私にくれやろうと分別したにちがい、そういう風に始末するが、三つの品の一ばん当を得た分配法だと、すでに昨夜の炬燵の時から諦めていたにちがいない。そんな配慮を解せず、ニベなく手を振つて拒絕したとは、何とも礼を失した唐変木。甚だ後味のわるい幕切れであった。

その翌々年だったか、暮から正月にかけて、わが家の子供たちを連れて志賀高原へスキーに行つた時、私は何はあれ、先ず渋の夫人の宿に一泊を乞うた。が、K館の女主人は見覚えもない老婆に変っていた。A夫人はその前年他界したとかで、実母の老夫人が娘の後を継いで宰領していたのである。

アルバムに残つたスナップ写真は、天然色のものではない。がその背景の楓樹の減びの色の絢爛さは、いまも私の眼にある。

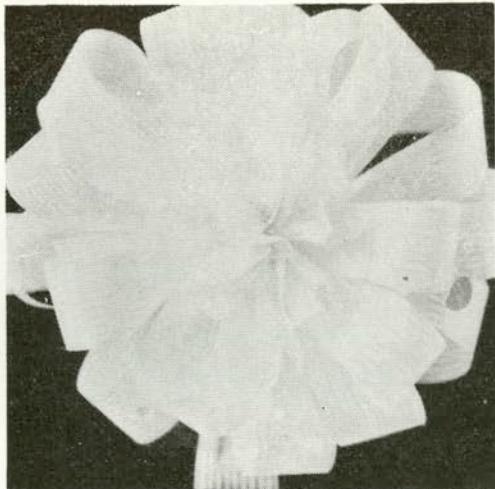
# Faehlein's

## ドイツ菓子

ピラミッド  
ビスケット  
各種ケーキ

# ユーハイム

本店・三宮生田神社西隣  
神戸そごう・神戸三越・国際名菓店



GOLDEN  
X'MAS  
&  
LAVELY  
PRESENT

金の包装紙に / 金のリボン

12月5日より15日まで  
お買上 1,000円以上の方に「キー  
ホルダー付靴べら」 ..... 500名様  
同じく3,000円以上の方に「ペンキ  
灰皿」 ..... 500名様

男の服飾

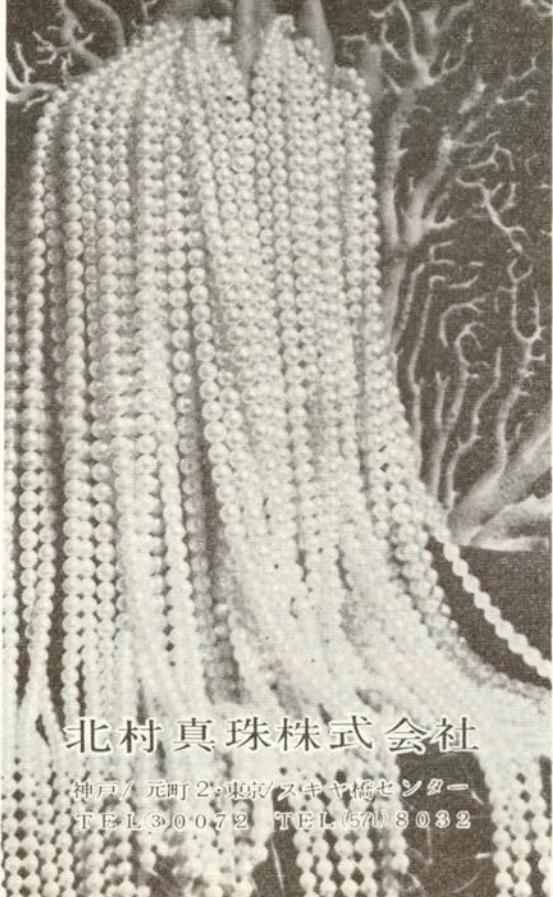


三宮本店 神戸センター街  
TEL (078) 0895  
トアロード店 センター街西口  
TEL (078) 0896  
新聞地店 新聞地本通り  
TEL (078) 7688  
姫路店 姫路駅デパート  
TEL (078) 1261



KITAMURA PEARLS

世界の人々に愛される  
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸／元町2・東京／スキヤ橋セントラル  
TEL(3)0072 TEL(57)8032

お歳暮ご贈答に一番喜ばれます  
特に東京送りによく使われています

元町通三丁目 TEL(3)二三四〇番

マロングラッセは  
ヒロタの銘菓

世界中のからほめられた  
日本の誇り 神戸のほまれ

# 教え子

阪本  
え・小  
松  
益  
喜  
勝



尼崎市在住の友人岡村俊一郎君の著書“怒りと愛と”（サブタイトルに“或る教師の手記”とある）が先般非売品として出版された。岡村君はわたしの古い友人だが、尼崎市長時代、尼崎の中学の教師をしていたかれに久しぶりにめぐりあい、懐旧談に打ち興じた。その後かれは教師をやめ、神戸電鉄沿線にひきこもって前記の原稿を書きあげた。ところが出版の方途がつかない。大宅壮一君や小林秀雄氏なども努力し、わたしもお世話をしたのだが、ものにならなかつた。これを伝えきいた往年の教え子たちが立ちあがり、先生の知らない内に、購読の先約をとつて資金をつくり、さる十一月にとうとう一本にしあげた。岡村君は右眼を失明せんとして手術により辛苦ももちこたえ、左眼も視力がひどく弱く、外出のときは教え子の誰かがつきそうという不自由さである。教え子たちが孤独で貧

しい恩師の原稿を本にしようと走りまわっているという記事を朝日紙上で見たわたしは感動を禁することができなかつた。まずはこの企画の成功を心から喜ぶとともに、教え子たちのみなさんの深い人間愛に敬礼をささげる。

ところでわたしにも、教え子たちからうけた尊い愛情の思い出がある。わたしは東大を大正十二年に卒業して、東京朝日新聞の入社試験を受けた。(正しくいうと受けようとした)

試験場は当時の東京一中の講堂だったが、堂内に円形の太い柱が何本か立つていて、正面にはられた試験問題が半分より見えない。

場内は騒然となつた。若気のはやりともいふのか、わたしは答案紙をひき破り、試験場を飛び出した。そして文部省の督学官室に直行した。仙台二高の先輩にあたる山内督学官の部屋には、これまで二高の先輩で福島県立福島中学の添野校長が英語の教師をもとめに来あわせていた。話はその場できまつて、わたしは一年間福島中学校の教師をつとめた。

その後わたしが政治や文筆で世の中に出でから福島の教え子たちからなんべんとなく招待をうけた。ついに昭和三十六年五月、やつとみこしをあげたわたしは、三十余年ぶりで福島を訪れた。上野駅から同車してくれた教え子のなかには社会党の幹部八百板正君や、先日まで毎日新聞東京本社の論説委員をしていた渡辺三樹男君もいた。福島駅頭には多くの教え子たちが迎えにきてくれていた。その夜の招宴のかたじけなく、うれしかったことよ。約八十名の教え子たちは下へもおかぬようにわたしを歓迎してくれた。みな五十をとつくにすぎたオッサンたちばかり。髪は白く薄くまたはげあがり、老眼鏡をかけて目をしばだたいていた。

在任僅か一年、しかしに旧師を忘れぬこのもてなし——わたしは感泣の思いに堪えなかつた。その夜は飯坂温泉に一泊して歓をつくした。

今春の東京都知事選挙のときははどうだったか。これらの教え子のうち、あるものははるばる福島から米をかついでくれた。あるものは味噌や名産納豆、あるものは、酒、醤油、おかげで東京市谷

の我が家は、豊富な物資で踏むところもなくなつた。またあるものはわたしのボディ・ガードを買って出てくれた。ああじぶんは何んというし、あわせものだらう、とわたしは思つた。

さる総選挙では悲喜こもごもだつたが、社会党の選挙対策委員長の八百板正君が落選したことがいちばん身にこたえた。わたしの在任中、かれは四年生だつたが、学校はなまけがちで、ほとんど毎日私の家に遊びにきて、寝ころびながら書架の本を手あたりしだいに読んでいた。出席日数が足りなくなつて落第するぞと警告したが言うことときかなかつた。結局四年から五年に進級するとき、学校を中退して、わたしについて尼崎にやつてきた。そして足かけ五年も尼崎の家やその他のわたしの転居先でぶらぶらしていた。わたしの蔵書も数多く読んだ。その思想的影響でかれは後年社会党の闘士となり、永く代議士をつとめることとなつたのだ。深いえにしといわればならぬ。

そのころわたしは父とともに楽焼にこつっていた。阪本病院の裏庭に大きなカマを築いて、われら親子は陶樂にふけつた。若き八百板君はわれわれの助手をつとめ、みずから“泥八”と号して立ち働いてくれた。その作品が今も數点残つている。泥八と彫つてあるのがなつかしい。父は竹山と号し、わたしはその子という意味で筈山と号した。泥八君は生れたてのわたしの子供のお守りもしてくれたし家族の一員になりきつて助手をつとめてくれた。そのかれが落選したのだから、われわれ夫婦や、むかしかれにお守りをされた長男（医師）はしげかえつている。チャップリンひげをはやした（先生にひげはないのに）われらの泥八君は、晚秋初冬の空をどんな感慨で見あげているだろう。可哀そうでならない。ふびんでならない。古い言葉だが、捲土重来を期して奮励努力するんだよねえ、八百板！（福島時代のように呼び捨てにさせてくれ）

師の値打ちもないわたしのようなものを師と考えていてくれる多くの教え子たちにさいわいあれ。ああ、世にもかたじけなく、ありがたきもの、それは教え子というものだ。

□ 神戸つ子放談／①□

# 神戸を生かす

## 町づくりを

豊 彦  
(乾汽船KK社長)

乾



乾汽船は神港ビルの五階にある。第一突堤から第三突堤に入っている巨船が目の前に迫つて来るような位置にある。社長の乾豊彦さんは、隙のない英國スタイルの神戸つ子紳士だし、財界きっての毒舌家の一人だと自分で言はれるほどのファイター。港湾からゴルフまで多彩な神戸論を展開される。

### 広野ゴルフクラブを通じて神戸に貢献

「私は名古屋の出身で、名古屋高商から、大阪の三井物産に五年程いて、それから乾家に来たんです。だから昭和十二年からの神戸つ子なんですよ。もう三十年になるから、ほんとの神戸つ子だよ。その点、岡崎忠さんも小曾根真造さんも一緒ですよ。私は早くからゴルフをやつしていく、広野ゴルフクラブにも、昭和十二年からはじめて、終戦後の混乱時代に広野ゴルフ場の復興に一役買って現在、広野ゴルフクラブの理事長を勤めているんですが、当時は、現在のようにゴルフが盛んになるとは夢にも思いませんでしたよ。だから神戸には、広野ゴルフ・クラブを通じて貢献していくと思っています。

三年ばかり前に、現在の金井知事のご依頼を受けて、小野市に鴨池というのがありますが、その池を中心にして十八ホールのコースをつくりましたが、これが小野ゴルフ場で、いまキャプテンは岡崎忠さんですが、このコースも広野に次ぐいいコースだと私は思っています。

私は思うんだけど、全日本の試合とか国際試合に使われるコースとしては、広野、小野・宝塚・西宮の四つのコースしかないでしょ。私は日本ゴルフ協会の常任理事を八年間ほどと、現在、関西ゴルフ連盟の理事長をしているので全日本の試合のコースを決めてるわけですが、これらのコース以外には悪くてもいいんじゃないですよ。しかし、ゴルフ場としては、六甲のよう、避け暑をかねた、コースもあり、パブリックなコースもありますが、手軽なコースも必要だし、あっていいんですよ。だが、本格的な一流コースというのは少ないということです」

## 外人に皮肉られた、日本のゴルフ熱

「戦前のゴルフと戦後のゴルフの違いといふは観念に相違が見られます。戦前は殆んどインディビュイジヤル（個人的）競技でした。最近のように賞品をうづ高くつんでゴルフをやると言うようなことはなかつたし、競技に対しても真面目でしたね。ウイーグリーにゴルフをしてみると『あいつは何をしているんだ』と叱られたもので、休暇をとつてゴルフに行つたものです。最近はウイーグリーでも大手を振つて行つてゐるし、逆にウイーグリーの方が多いなつたりするんだ。先日も東京で外人をあるゴルフ・コースに連れていったんですよ。そうしたら一杯なんだ。外人が驚いて『一体、今日は日本の祭日か』と皮肉を言うんだ。あまりウイーグリーに、しかも、会社アカウントでいくと言うのは敵に戒めたいものですよ。でないとゴルフ亡國論が起るのは故なしとしない。この辺ゴルファーも考へないといけないことです」

## 素晴らしい神戸の生活

「私は、東京でいろいろ仕事をしているものだから、あの埃っぽい東京、交通地獄の東京から、神戸に帰つて来るとほつとするし、神戸ライフの有難さをしみじみと感じているんですよ。酒もいい、バーなどもいい、フレッシュな感覚もあるし、気楽なところもいい、土曜日曜にはゴルフも充分楽しめるし、これは最高だと思う。ただ、今後の神戸の発展ということを考えて見ますと、第一に不安なことは、県・市・財界の結束が弱いということですよ。中京財界などに比較すれば、結束がないと言つていい程ですね。それに海運界にしても、戦前の神戸は海運界の中心都市だったのだが現在では一つの港に過ぎなくて、中心はほとんど東京に移つてしまつてゐると言う現状ですから、伸びるとすれば播州工業地帯なり阪神間になると思うんです。だから港、神戸としては、むしろ、六甲山系を生かして觀光都市として伸ばした方

がいいと思うんだ。神戸でこれ以上の工業の発展を考えるというより、名神高速道路など道路もよくなつて来ていることだし、觀光都市、神戸としての面を強く打ち出した方がいいと思いますよ」

## 神戸の特長を生かした町づくりを

「結局、神戸の特長を生かした町づくり、ということが一番望ましいことだと思います。それは、觀光都市としての發展を考える、そのためには『町の美觀』と『設備の完備』ということだろうね。近くオリエンタル・ホテルもよくなりますが、ああいつた設備を充実させて行くことは結構だと思いますよ。それに摩耶埠頭も完成近い訳ですが、港湾の拡大と設備の完備ということも、日本を代表する港としてぜひ、進めて欲しいと思いますね。それと六甲山の開發は、觀光と住宅地と両面で開発して行くことこれが神戸に必要なことなんだと思いますよ。それに現在経済同友会で計画を進めている、バイパス道路とか播州と神戸を結ぶ道路の開發をやらなくてはいけませんよ。そんな道路計画は絶対に一貫性をもつたもので進めるべきだと思いますよ。道路行政が實にやかましく言はれながら進捗しないのは、ちょっとと我われとしては腑に落ちないことですよ」

## 青年の創意と力に期待

「最近、神戸青年会議所の活躍は立派だと思いますご存知のように、大企業の經營者が各社とも若返りをはかつていていますが、現代は、若い人の創意とか力を生かして行かない時代のテンポにあわなくなつて來ているんだ。そう言つた意味で、神戸青年会議所が経済團体として認められたことは、神戸の發展のために力になるし、当然なことだと思いますよ、少なくとも私は、青年層の力に魅力を感じますね。ただ、神戸青年会議所に苦言を与えるとすれば、どうか、表面的な、うわつ調子な發展であつてほしくないことですよ」（文責・小泉康夫）



金 柴田音吉洋服店

O-SHIBATA

神戸=元町通4丁目  
TEL〈4〉0693

大阪=高麗橋2丁目  
TEL〈231〉2106

## まごころこめた贈り物に

70年の伝統の味に新しい味覚をくわえてつくりあげたかずかずの銘菓…。  
すばらしい風味と気品のあるデザインはどなたにも喜んでいただけます。  
お気づかいのお歳暮ご贈答に鳳月堂のお菓子をお選びください。

X'マスケーキ  
ゴーフル  
マロングラッセ

鳳月堂

元町3丁目 TEL③ 695・696

